



地域に永く伝わる伝統行事

新木ふれあいあわんとり

令和4年1月9日（日）、新木地区まちづくり協議会が、新木小学校の校庭で「第23回新木ふれあいあわんとり」を開催します。

あわんとりとは、「どんと焼き」のことで、食料である「粟」をついばむ「鳥」を追い払い豊作を祈念するとともに、篠竹の先に丸餅を刺して焼き、それを食べることで一年間の無病息災を祈る、我孫子市と取手市に古くから伝わるお正月の行事です。

お正月に飾った門松やしめ飾りを、萱や藁、竹で作った高さ12メートルの三角柱のやぐらと一緒に焚き上げます。毎年、新木小学校の子どもたちや地域の方々が参加しています。

今回のやぐらに使用される萱は、新木地区まちづくり協議会とボランティア14名によって、トラック5台分もの萱が集められました。

日時：令和4年1月9日（日）午前11時30分～午後2時（あわんとり点火11時50分）

場所：新木小学校 校庭

まちづくり協議会とは

地域で活動する自治会・町内会や各種団体、有志の住民から構成された開かれた組織。近隣センターの建設に伴い地域の住民が中心となって組織された建設委員会が前身となり、建設後は、まちづくり協議会として、施設運営と地域に根ざした活動を行っている。我孫子市では現在10のまちづくり協議会が結成されており、まちづくり協議会ごとに特色のある活動が行われている。



【問い合わせ】

市民生活部市民活動支援課

担当 榎本

☎ 04-7185-1111（内線434）